

Ⅲ 成果と課題

- (1) 意識調査結果及び成果と課題 48
- (2) 学校部活動の地域連携及び地域展開の推進に向けて 52

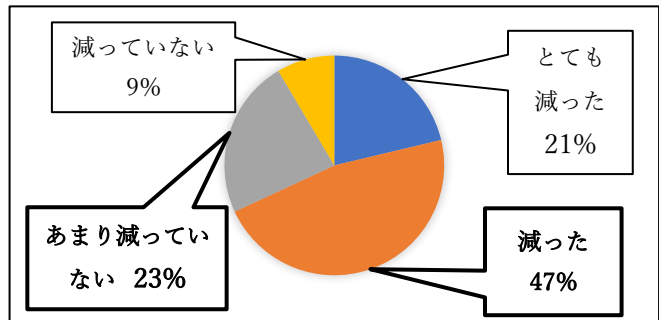
令和7年度 群馬県地域スポーツクラブ活動体制整備事業 意識調査結果
 — 休日の部活動の段階的な地域スポーツクラブ活動への移行に関する実証事業 —

調査対象：実証事業を行った12市町村及びMINAKAMI TOWN. EXE ※任意回答

I 顧問 (回答：47人)

(1) 「地域スポーツクラブ活動」において、地域の指導者が指導することで、学校部活動の負担感は減りましたか。

とても減った	10人
減った	22人
あまり減っていない	11人
減っていない	4人



<意識調査からの成果と課題>

- 【成果】 □ 土日の指導する機会が減り、土日に休める日が増え、ゆとりができて負担が減った。
 □ 練習内容等を相談できる人がいることで精神的負担が軽減され、休むことができる。
- 【課題】 ■ 合同チームで活動できるのは土日祝日のみで、平日の負担は変わらない。
 ■ 生徒に関わる指導時間は減ったが、連絡調整、書類作成提出など新たな業務が増えたため。

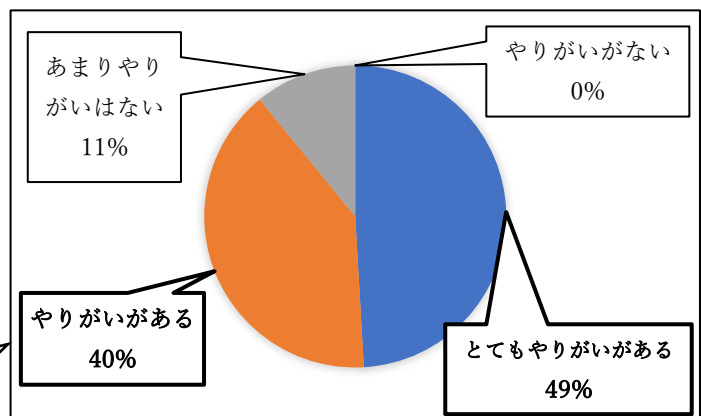
<令和6年度との比較及び考察>

昨年度と同様な割合であった。部活動が地域スポーツクラブ活動になることで、顧問の休日の指導が減り、休める日が増え負担感が減っている一方、休日の地域スポーツクラブ活動へ顧問が参加している場合や平日の指導の負担を感じている顧問もいる。地域スポーツクラブ活動で地域の指導者が指導することで、確実に顧問の負担感は減るので、顧問が関わらなくてもよい体制整備を推進する必要がある。

II 地域指導者 (回答：55人)

(1) 「地域スポーツクラブ活動」で指導することについて、気持ちを教えてください。

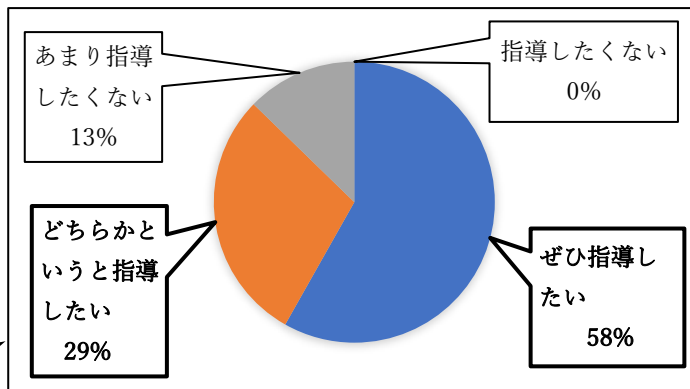
とてもやりがいがある	27人
やりがいがある	22人
あまりやりがいはない	6人
やりがいがない	0人



89%の指導者が、やりがいがあると回答し、昨年度(87%)よりやりがいを感じている指導者が多い。

(2) 今後も「地域スポーツクラブ活動」で、指導したいですか。

ぜひ指導したい	32人
どちらかという指導したい	16人
あまり指導したくない	7人
指導したくない	0人



87%の指導者が、今後も指導したいと回答し、昨年度（80%）より指導したいと思っている指導者が多い。

<意識調査からの成果と課題>

- 【成果】
- 指導する中で、子どもの成長する姿、楽しく取り組む姿を見ることができ、喜びである。
 - 中学生の活動の機会を確保し、中学生のために力になりたいと思っている。
 - 専門性を生かして社会貢献になり、金銭的な支援、報酬をいただけるのも助かる。

- 【課題】
- 生徒の熱量、モチベーションに差があり、指導が難しい。
 - 保護者の考えや気持ちがわからないので、知る機会（説明会）が必要である。
 - けがや問題が起きた時の責任や対応が心配である。
 - 普段の部活動がわからないので、どのレベルの指導をしてよいかわからず、学校との連携が必要である。

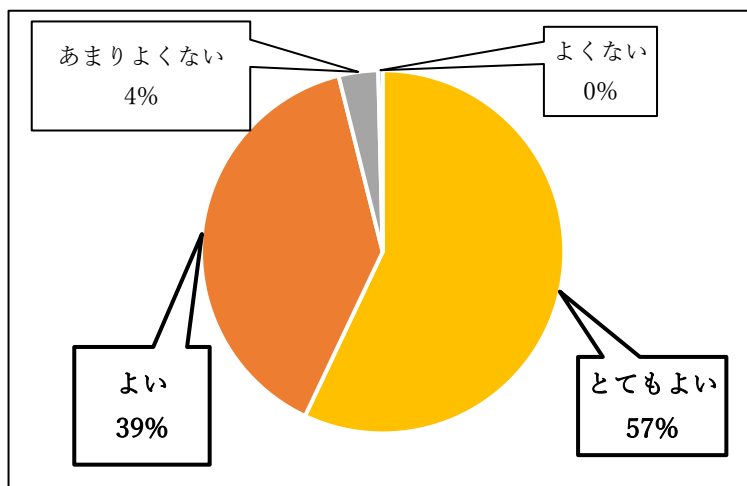
<令和6年度との比較及び考察>

昨年度と比較すると、地域スポーツクラブでの指導に「やりがいがある」と感じている指導者や、今後も「指導したい」と思っている指導者が増えている。多くの指導者が、中学生の活動機会の確保や中学生の成長のために指導してくださっている一方、指導や安全管理等に不安や心配を感じている指導者も多い。指導者が、安心して安全に指導できる体制を整備していくことも必要であると考えます。

Ⅲ 生徒（回答：256人）

(1) 「地域スポーツクラブ活動」で地域の指導者が指導することについて気持ちを教えてください。

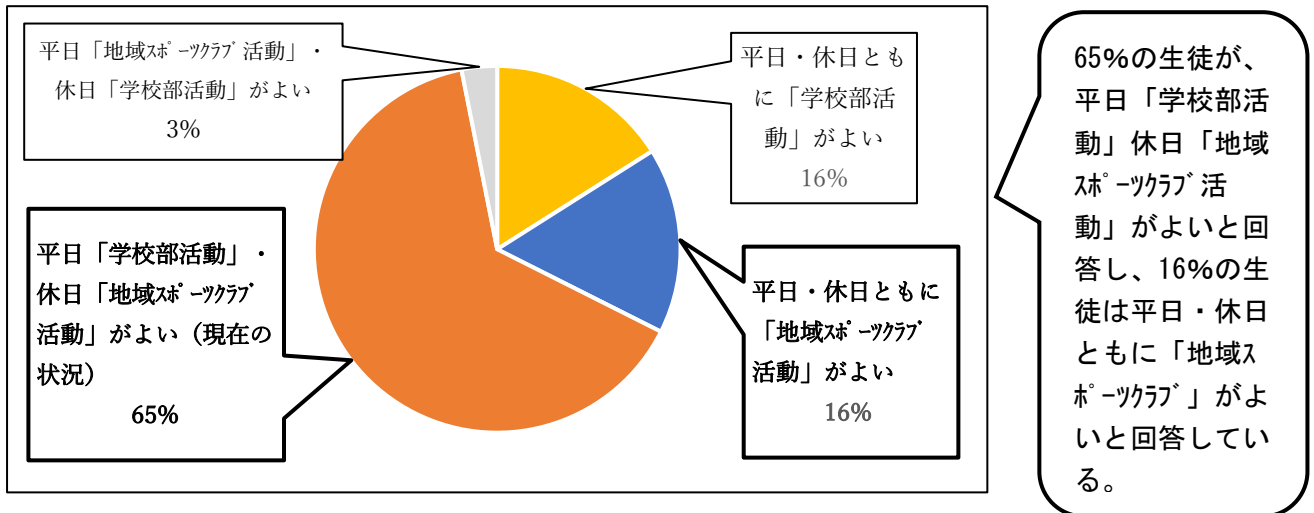
とてもよい	146人
よい	100人
あまりよくない	9人
よくない	1人



96%の生徒が、よいと回答し、昨年度（88%）より、よいと思っている生徒の割合が大幅に増えている。

(2) 今後の「学校部活動」と「地域スポーツクラブ活動」の実施について気持ちを教えてください。

平日・休日ともに「学校部活動」がよい	41人
平日・休日ともに「地域スポーツクラブ活動」がよい	42人
平日「学校部活動」・休日「地域スポーツクラブ活動」がよい（現在の状況）	165人
平日「地域スポーツクラブ活動」・休日「学校部活動」がよい	8人



<意識調査からの成果と課題>

- 【成果】
- 地域指導者や他校の中学生と活動でき、友達が増え交流が楽しい。（多数の生徒が回答）
 - 地域指導者から専門的な指導やアドバイスを受けられ、新たな知識や練習方法を学ぶことができ、技能が向上する。（多数の生徒が回答）
 - 地域指導者は、一人一人を見てくれ、個人に合った指導をしてくれる。
 - 先生の負担が少なくなり、地域の人との関わりが深められる。
 - 他校の生徒と互いに高め合いながら、より高いレベルの練習ができる。
- 【課題】
- 顧問と地域指導者の指導方針が異なって、どう対応したらよいのか不安である。
 - 移動距離が遠くなるので、親の送迎や移動時間、自転車での交通事故が心配である。
 - 地域指導者や他校の生徒とコミュニケーションが取れるか不安である。
 - 参加費や活動時間が増えてしまうのではないかと心配である。

<令和6年度との比較及び考察>

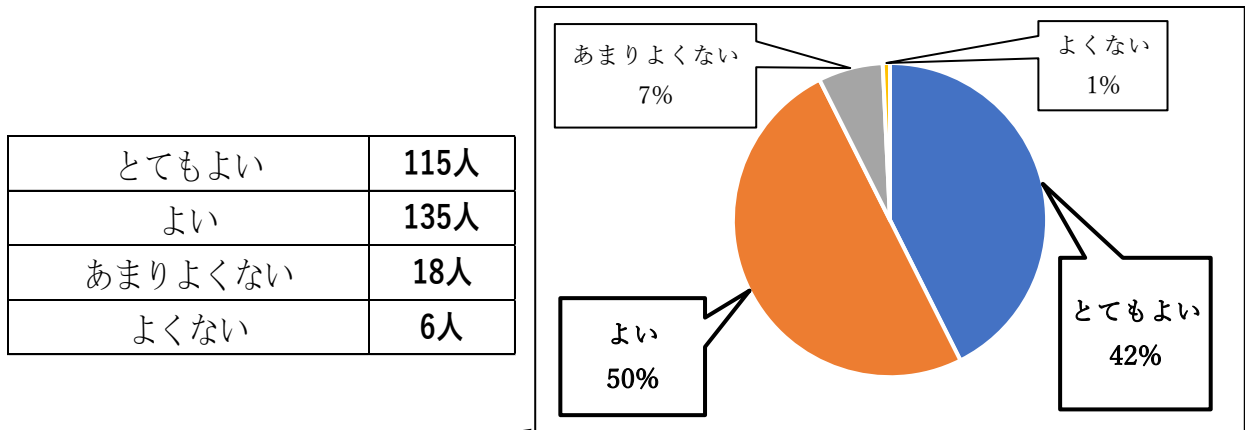
地域スポーツクラブで地域指導者が指導することについて、96%の生徒がよいと肯定的に捉えており、昨年度と比較し8%増加している。

今後の学校部活動と地域スポーツクラブの実施については、『平日「学校部活動」・休日「地域スポーツクラブ活動」がよい（現在の状況）』と回答した生徒が65%で、昨年度とほぼ同じ割合であった。『平日・休日ともに「地域スポーツクラブ活動」がよい』と回答した生徒は16%で、昨年度から8%増えている。また、『平日・休日ともに「学校部活動」がよい』と回答した生徒は16%で、昨年度から9%減っている。

多くの生徒が、地域スポーツクラブで地域指導者が指導することを肯定的に捉えており、成果が現れている。一方、不安や心配と感じている生徒もいるので、不安や心配を解消していくことも必要であると考える。

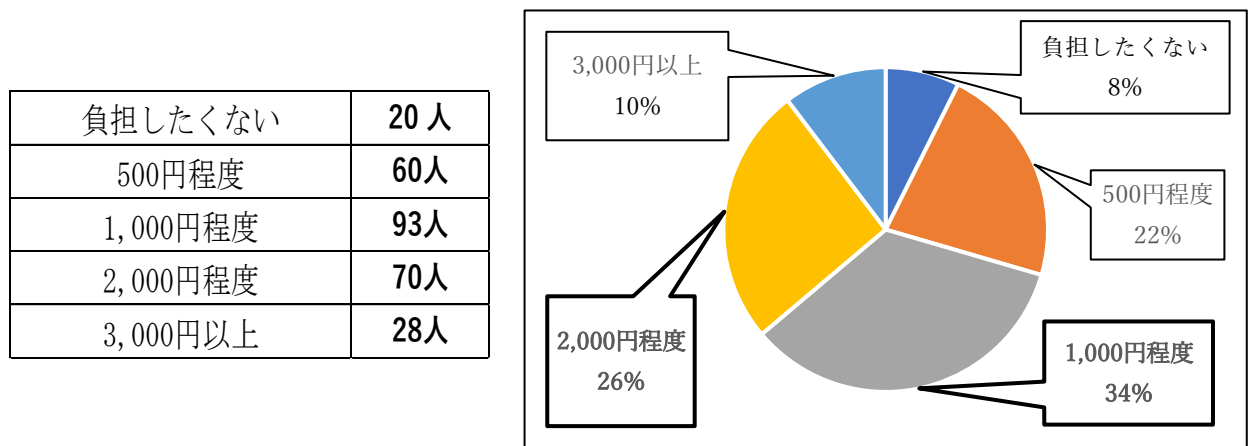
IV 保護者 (回答: 270人)

(1) 「地域スポーツクラブ活動」で、地域指導者が指導することについて気持ちを教えてください。



92%の保護者が、よいと回答し、昨年度の90%より若干増えている。また、「よくない」と回答した保護者が3%から1%へ減っている。多くの保護者が、地域スポーツクラブ活動で地域指導者が指導することについて、肯定的に捉えていることがわかる。

(2) 費用（指導者謝金や会場使用料、生徒・指導者傷害保険等）の負担について、月あたり、いくらまでなら負担してもよいと感じますか。

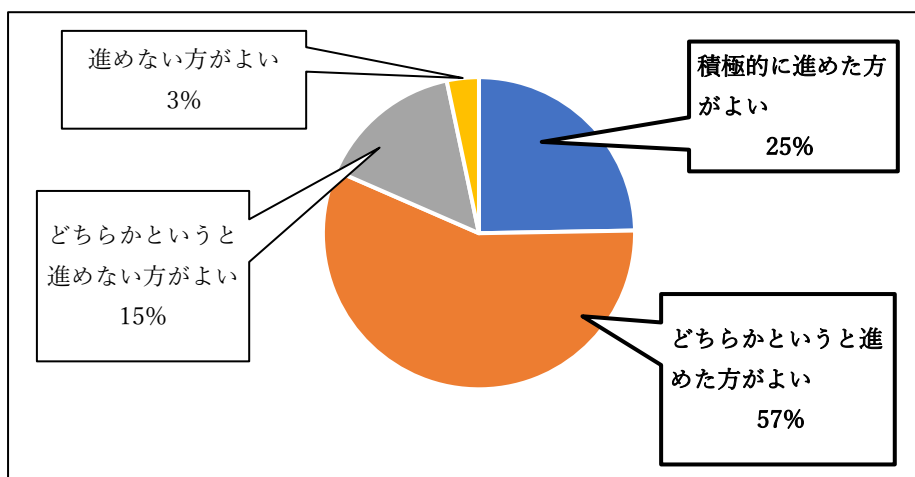


月あたり保護者が負担してもよいと感じている一番多い項目は「1,000円程度」の34%であり、昨年度とほぼ同程度であった。また、「3,000円以上」「2,000円程度」と回答している保護者は合わせて36%おり、年々その割合が高まってきていることから、受益者負担の理解や意識が高まってきていることがわかる。

「500円程度」や「負担したくない」と感じている保護者も30%いることから、費用負担について、保護者に丁寧に説明するとともに、低廉な費用での活動ができるか検討していく必要もあると考える。

(3) 今後「地域スポーツクラブ活動」が進むことについて、気持ちを教えてください。

積極的に進めた方がよい	67人
どちらかというに進めた方がよい	154人
どちらかというに進めない方がよい	41人
進めない方がよい	9人



82%の保護者が、進めた方がよいと回答しており、昨年度と同じ割合であった。
18%の保護者は、進めない方がよいと感じており、地域展開について課題を感じている。

<意識調査からの成果と課題>

- 【成果】
- 専門的な知識や経験のある方に指導してもらえ、質の高い指導・練習が受けられる。
 - 先生（顧問）の負担軽減になる。
 - 複数の地域指導者や他校の生徒と関わることができ、様々な経験ができるようになる。
 - 参加する人数が増え、子どもの選択できる種目が増えることはよい。
- 【課題】
- 子供のことをよく知っている顧問（地域指導者）に指導してもらいたい。
 - 保護者の送迎や費用等の負担が増えてしまうのではないかと心配である。
 - 顧問と地域指導者の連携ができていないか。安全対策や緊急時の対応等も心配である。
 - 活動場所が確保できるか。活動場所が遠くなるので、移動時間や安全面で不安がある。
 - 地域指導者や他校の生徒と関係が築けるか心配である。

<令和6年度との比較及び考察>

保護者の意識については、全体的に昨年度と大きく変わっていない様子が見られる。地域スポーツクラブ活動で地域指導者が指導することについては、90%以上の保護者がよいと回答しており、多くの保護者が地域展開のよさを実感していると思われる。また、月あたりの費用負担については、保護者の意識に差があることが見て取れる。地域展開に価値を感じ、費用負担をしてよいと思っている保護者がいる一方、低廉な負担や費用負担をしたくないと思っている保護者も同程度いる。地域スポーツクラブ活動において参加費等を設定する場合は、保護者への説明を行い、理解していただくことが必要である。

また、指導者の質の担保や活動場所の距離や移動方法など、不安を感じている保護者もいるので、実施主体等の体制を整備していく際には、配慮していく必要があると考えられる。

学校部活動の地域連携及び地域展開の推進に向けて

群馬県教育委員会
群馬県地域創生部

☑ 地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業の実施及び報告について

- 県教育委員会は「地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業」を、前橋市、桐生市、伊勢崎市、沼田市、渋川市、藤岡市・榛東村・吉岡町・長野原町・東吾妻町・川場村・玉村町の12市町村で実施した。また、県地域創生部は「MINAKAMI TOWN. EXE」で実施した。
- 各市町村及び地域スポーツクラブがまとめた実施報告書には、実証事業の概要や地域連携・地域展開の概要、取り組み内容及び成果・課題等が記載されている。実施報告を参照し、今後の地域スポーツクラブ活動の体制整備に生かしていただけたいら幸いである。

☑ 実証事業のアンケート結果を踏まえて ※実施報告書（P48～52）参照

- 実証事業を実施した自治体及び関係する学校部活動の顧問、地域スポーツクラブの指導者・生徒・保護者にアンケートを実施し、実態を明らかにして、成果と課題をまとめた。
- 顧問の約7割が「学校部活動の負担感が減った」と回答しているが、約3割の顧問が「学校部活動の負担感が減っていない」と回答している。地域指導者が指導することで、確実に顧問の負担感は減るので、顧問が関わらなくてもよい体制整備を推進する必要がある。
- 地域指導者の約9割が地域スポーツクラブ活動での指導を肯定的に捉えており、「今後も指導したい」と回答している。引き続き地域指導者にはご協力いただき、地域指導者が安心して安全に指導できる体制を整備していくことも必要である。
- 生徒の多くは「地域スポーツクラブ活動」について肯定的に捉えている。『平日「学校部活動」休日「地域スポーツクラブ活動」がよい』と回答している割合が約6割で、放課後の移動や地域指導者の課題（仕事と指導の両立）を考えると、現実的な対応であると考えられる。
- 保護者の約9割が「地域スポーツクラブ活動」について肯定的に捉えているが、費用負担については、意識が分かれている。また、指導者の質の担保や活動場所の距離や移動方法など、不安に感じている保護者もいるので、丁寧に説明し理解していただく必要がある。

☑ 県としての実証事業の取組について ※実施報告書（P33～46）参照

- 県では、県内35市町村を訪問して現状や課題を把握し、自治体に寄り添った支援を行ってきた。地域展開の情報提供や情報共有のため、県外視察やシンポジウム・セミナーを開催するとともに、市町村や関係団体にコーディネーターを派遣する制度、部活動地域展開チェックリストの作成・配布などを行った。重点政策課題では、マルチスポーツ体験やトレーナー派遣、マネジメント研修を実施した。来年度も、保護者や地域の方々、教員をはじめ関係者の理解が深まるような取組を実施し、一人一人の当事者意識をさらに醸成していきたい。

☑ 本県における地域展開を推進するために ～まとめ～

- 今年度は、12市町村1地域スポーツクラブで実証事業に取り組んでいただき、成果や課題が年々明確になってきている。県としては、市町村が地域連携・地域展開を推進できるよう、引き続き35市町村と連携・協働し、自治体の課題やニーズに沿った支援を提供するとともに、コーディネーター等を活用してより市町村に寄り添った対応をしていきたい。
- 来年度からは、改革実行期間になる。多くの自治体で地域連携や地域展開が本格的に動き出すことが想定される。県では、国から示された「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン（令和7年12月文部科学省）」を踏まえ、県としての方針を示し、市町村を支援できる体制を充実させていきたい。